

資格対策講座4

対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大村			実務 経験	有	職種	プログラマー				

授業概要

各種検定資格の対策を行います。

到達目標

ソフトウェア開発で出題されている1つ1つの命令を意味を説明できること、簡単な例題のプログラム等を解読できること、基本情報技術者試験の午後問題で出題されている問題の内容を理解できること、出題されるプログラム等を読み解して、解答を求めることができることを目標とする。

授業方法

ソフトウェア開発問題のプログラム等で使用される各種命令を数個ずつ解説し、例題を使って学んだ命令の使われ方を学ぶ。その後、簡単な課題のプリントを使って、命令数の少ないものから多いものまでを段階的に解くことによって、問題文やプログラム等の読み解力を養い、基本情報技術者試験の午後問題で出題される問題を解答できるようになることを目指す。

成績評価方法

目標としている試験への取り組み状況、試験申し込みと受験の実績、および合否の結果を総合的に評価する。

履修上の注意

資格試験は、講義時間内の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主体的に自宅学習を進めることが肝要である。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応をする。理由の無い遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーを守ることを求める。（詳しくは、最初の授業で説明。）授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。本科目は、授業時間外で実施致する。

教科書教材

資料を配布する

回数	授業計画
第1回	言語解説(1)（学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読み解ける）
第2回	言語解説(2)（学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読み解ける）
第3回	言語解説(3)（学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読み解ける）

資格対策講座4

第4回	言語解説(4) (学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる)
第5回	言語解説(5) (学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる)
第6回	言語解説(6) (学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる)
第7回	言語解説(7) (学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる)
第8回	言語解説(8) (学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる)
第9回	言語解説(9) (学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる)
第10回	言語解説(10) (学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる)
第11回	課題演習(1) (過去問題などの課題プログラムを読解して、解答を求めることができる)
第12回	課題演習(2) (過去問題などの課題プログラムを読解して、解答を求めることができる)
第13回	課題演習(3) (過去問題などの課題プログラムを読解して、解答を求めることができる)
第14回	課題演習(4) (過去問題などの課題プログラムを読解して、解答を求めることができる)
第15回	課題演習(5) (過去問題などの課題プログラムを読解して、解答を求めることができる)